

尾池守 石巻専修大学長 年頭の抱負



その第一歩として、学びたい人のニーズと社会からの要請をマッチングさせ、多様な価値観にに応じた教育課程の再編を早

本学の価値創出へ改革推進

未来を見据え 学部再編構想

明けておめでとうございませう。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2019年、石巻専修大学は創立30周年を迎えました。建学の精神「社会に対する報恩奉仕」と21世紀ビジョン「社会知性の開発」の理念の下、「実践的な教育」によって社会の諸課題を解決できる人づくりを目指しています。

文部科学省答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」や世界的規模で推進されている「SDGs（持続可能な開発目標）」では、「AIをはじめ一連のデジタル技術のシステムがもたらすソサエティ5.0により、人口減少や高齢化などのさまざまな課題を解決し、持続可能でインクルーシブな社会の実現を目指す」という提案もなされ、現在、新たなサービスが次々と生まれています。

このような社会的・政策的背景を踏まえ、少なくとも今後10年を見据えた改革への取り組みが必要です。本学ならではの価値の創出に向け、学部・学科改組を含む教育課程の再編、教育研究活動の活性化を目指した改革を進めます。

この第一歩として、学びたい人のニーズと社会からの要請をマッチングさせ、多様な価値観にに応じた教育課程の再編を早

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の
情報は
大学HPで。

人間文化学科・杉浦ゼミ 専大社会科学部・嶋根ゼミ

初の合同ゼミ実施

人間学部人間文化学科の杉浦ちなみゼミが、専大社会科学部社会科学部社会科学部の嶋根克己ゼミと合同ゼミを実施した。初の試みで学生たちは互いのキャンパスを訪れて意見を交わし、学びを深めた。

12月6日には嶋根ゼミの6人が石巻市を訪れ、東日本大震災の被害と復興の歩みを調べた。杉浦助教、ゼミ生とともに石巻中央公民館、大川小学校跡地などを見学した。

杉浦ゼミの阿部佑衣さん(3年次・宮城県涌谷高)が「公民館を避難所として開放した際の資料を閲覧し、当時の様子が理解できた」と話すと、

嶋根ゼミ所属のベトナムからの留学生、リユー・ド・カイン・リンさんは「現地を見て、被災者から話を聞き、想像を超える被害の大きさが伝わった。20日には杉浦ゼミの6人から卒業論文の概要報告が行われた。

杉浦ゼミからは高橋まなきさん(4年次・宮城県石巻西高)、千葉美沙季さん(4年次・宮城県岩手高)が卒業論文を発表し、有意義な質疑応答があった。

杉浦ゼミの平優斗さん(3年次・岩手県専修大学北上高)は「合同ゼミを通して意見を聞くことが、学びを深めることができたと振り返った。

嶋根ゼミの秋武亮太さん(3年次・山形県日本大学山形高)は「石巻市での調査活動では、大川小学校跡地を見学したことが被災者から聞いた話が印象に残っている。合同ゼミは東日本大震災について改めて考えるきっかけになった」と話した。

地域の社会を支える大学に

教育課程再編のキックオフとなる経営学部2学科体制について、簡単に触れさせていただきます。

超スマート社会(ソサエティ5.0)の実現に向けた取り組みが地球規模で加速するなか、本学はこの変化に対して、情報と経営に関する知識と技術を持ったビジネスデザイナーや、情報とデータを活用して社会的課題を解決するビジネスアナリストなどの付加価値の高い人材を、社会に送り出すための教育研究活動を推進します。その拠点として、情報マネジメント学科の設置を構想しています。

社会的課題を解決するために、地域資源を活用する地域共生型の経営学科と、現実空間と仮想空間の融合により情報資源を新たに活用する全国区型の学科を経営学部と併設することで、地域社会を支える大学としてのブランド形成を目指していきます。

石巻専修大学は創立40周年、50周年を目指して、学生の学びを促進する実践的な教育と持続可能な改革を進めていく所存でございます。今年も皆様方のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

4年次生に聞く

卒業を間近に控えた理工学部と経営学部の4年次生2人に、大学生活や就職活動を振り返ってもらった。



経営学科 阿部 凜華さん

商品開発に興味を持ち、石巻市内の企業と協力して、特産品である練り物に付加価値を加えた地域ブランド商品の開発に取り組みました。石巻のいいものを多くの方に知ってもらいたいと東京、静岡、青森、山形などでPR活動を行い、マーケティング戦略の重要性を体感しました。フィールドワークで多くの人と出会い、食べ物だけでなく、人や環境など、石巻の良さを再発見することができました。

就職活動では、進路支援の充実が、商品開発にも携わりたい。将来への明確な目標を、持たずに入学した私ですが、石巻専大でさまざまなことに挑戦し、やりたいことがたくさんありました。(宮城県石巻商業高、内定先：資生堂ジャパン)

あるかからないものです。海外赴任もしたいし、ネットの資格も取りたい。商品の開発にも携わりたい。将来への明確な目標を、持たずに入学した私ですが、石巻専大でさまざまなことに挑戦し、やりたいことがたくさんありました。(宮城県石巻商業高、内定先：資生堂ジャパン)

あるかからないものです。海外赴任もしたいし、ネットの資格も取りたい。商品の開発にも携わりたい。将来への明確な目標を、持たずに入学した私ですが、石巻専大でさまざまなことに挑戦し、やりたいことがたくさんありました。(宮城県石巻商業高、内定先：資生堂ジャパン)

あるかからないものです。海外赴任もしたいし、ネットの資格も取りたい。商品の開発にも携わりたい。将来への明確な目標を、持たずに入学した私ですが、石巻専大でさまざまなことに挑戦し、やりたいことがたくさんありました。(宮城県石巻商業高、内定先：資生堂ジャパン)



情報電子工学科 佐々木 一心さん

一つ一つの専門的な知識を積み上げていった4年間。数学やITといった自分が学びたかったことについて理解を深め、成長を実感することができました。

現在は佐々木慶文准教授の研究室で、卒業研究としてPepperの音声合成システムの構築に取り組んでいます。Pepperがご当地キャラクターの音声で話したら面白いのではという思い付きでした。試行

錯誤しながらテキストを読みたが、佐々木准教授や進み上げるツールを組み合わせているところで、卒業までにはしっかりと成果をまとめたかったです。

先生方には授業だけでなく、進路などについてもさまざまなことでアドバイスをいただき、感謝しています。

女子競走部の齋藤さん(経営1・宮城県聖和学園高)が、12月30日に行われた全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)に全日本大学選抜チームのメンバーとして出場した。齋藤さんは長い直線コースの6区(6キロ)を20分21秒の区間4位で駆け抜け、チームの3位入賞に貢献した。

知識積み上げ成長実感



大川小学校跡地で語り部から話を聞く＝12月6日



生田キャンパスで意見を交わす＝12月20日

生田キャンパスで意見を交わす＝12月20日



「食育アプリ」を楽しむ子どもたち

食べメッセに アプリを出展

経営学科生

経営学部経営学科の学生が「ひがしまつしま食ベメッセ」(12月1日、東松島市コミュニティセンター)に参加した。出展したのは東松島市食育推進協議会など共同で

学んでいる姿を見ることができ、喜びを感じた」と話した。泉涼さん(3年次・宮城県石巻好文館高)は「出展したことでいろいろな意見を聞くことができ、貴重な経験になった」と話した。

齋藤さん区間4位

富士山女子駅伝
選抜チーム3位

女子競走部の齋藤さん(経営1・宮城県聖和学園高)が、12月30日に行われた全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)に全日本大学選抜チームのメンバーとして出場した。齋藤さんは長い直線コースの6区(6キロ)を20分21秒の区間4位で駆け抜け、チームの3位入賞に貢献した。

富士山女子駅伝には、地区代表2校と二つの選抜チームが出場。大学日本一を目指し、7区間(43・4キロ)をタスキでつないだ。